



学校だより

# みどりの

5月号

一人一人の笑顔輝くみどりっ子 ~私も大切 あなたも大切~

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和8年5月1日

## 子どもたちを支える当事者の役割

校長 大塚 恭子

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。新しいクラスや担任にも少しずつ慣れ、校内には子どもたちの元気な声が響いています。上級生が優しく下級生に寄り添い、1年生も学校生活のリズムを覚え始めました。

先月は、ご多用中、懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。担任より、学校の重点目標に基づいて設定した学年経営方針の説明があったと思います。各学年の先生たちは、子どもたちにもわかりやすい言葉で年間テーマを決めて、これから機会がある度に子どもたちと共有したり、振り返りをしたりしていくと思います。運動会や遠足などの行事はもちろんのこと、日々の教育活動の中で意識していくものとなります。もちろん、子どもたちの発達段階も考慮しながらの働きかけになります。

さて、先月号では、学校を「学びを支える当事者」、ご家庭を「育ちを支える当事者」、地域の皆様を「見守り支える当事者」として位置づけ、「成長し学ぶ当事者」である子どもたちの健やかな成長を、協力しながら支えていきたいと思います。書かせていただきました。

学校では、子どもたちの安全に配慮しながら、教育活動を進めています。学習指導や生活指導などを行う中で、一人一人の子どもたちに生きる力をつけていきたいと思っています。ご家庭では、お忙しい中、お子さまの心身の体調を整え、支えてくださり、ありがとうございます。引き続き、規則正しい生活習慣(十分な睡眠や朝食の摂取など)を整えることへのご協力をよろしくお願いいたします。また、地域の方にも、地域の宝である子どもたちをいつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。登下校の旗振りだけでなく、洗濯物を干しながら子どもたちの登校を見守ってくださる方もいらっしゃると聞いています。子どもたちの安全を守るために、それぞれのお立場でできることやっただいしていることに感謝しております。

学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしていくことが、子どもたちの健全な成長につながると思っています。お互いを尊重しながら、同じ方向を向いて協力し合う、よりよい関係をつくっていくことが大切だと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。